市民の方からの御意見とその対応<令和4年度>

<令和5年3月27日受付>

主な御意見	対応
○事務事業評価制度について	
<p>1 評価してどうなったのか。市民が知りたいのは評価結果ではなくどう改善されたのか、どのような効果があったか。 事業仕分けをすべき。無駄な事業が多すぎ。この事務事業評価で無くした事業はあるのか。</p>	<p>事務事業評価の効果としましては、毎年度、「事務事業評価委員会」での御議論や各事業所管課における評価結果を踏まえ、各種事務事業の改善につながっているところです。 一例としましては、令和3年度に補助金、イベント、使用料・手数料の全庁横断的な総点検を実施し、廃止を含む事業の見直しや受益者負担の適正化を図っております（※令和3年度事務事業評価の結果については、本市ホームページにおいて公表しております。）。 引き続き、御指摘も踏まえ、評価の信頼性を高めることができるよう、制度の改善に取り組んでまいります。</p> <p><参考> 事務事業評価における取組結果（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金・イベントの点検 →補助金△25億円、イベント△2億円 ・ 受益者負担の適正化 →使用料+7億円、手数料+1億円 <p>※ 金額は令和3年度と令和5年度の予算を比較しています。</p>